

モノレール桜木駅ホームの装飾に学生制作の「縄文」イメージデザイン案を採用します！ ～千葉デザイナー学院生がデザインお披露目のため千葉市長を表敬訪問～

千葉市では、特別史跡加曽利貝塚を訪れる方へのおもてなしや愛着を高めるため、加曽利貝塚の最寄駅であるモノレール桜木駅の駅舎の装飾に、千葉デザイナー学院の学生が考案した縄文文化を感じられるデザイン案を採用しますので、お知らせします。

また、同学院の学生が、デザインをお披露目するため、千葉市長を表敬訪問しますので、併せてお知らせします。

1 経緯等

千葉デザイナー学院では、企業や自治体が抱えるデザインに関わる課題について、学生が考え、実際に課題解決のための各種取り組みを行う「企業プロジェクト」を進めている。

今回、その企業プロジェクトの一環として、昨年10月の加曽利貝塚の特別史跡指定を受け、最寄駅であるモノレール桜木駅のホームを縄文時代へいざなう玄関口にふさわしい姿に変えるため、本市の依頼のもと、縄文を感じられるデザイン案の制作がスタートした。

同学院2年生65人が13のチームに分かれ、実際に加曽利貝塚や駅舎を訪れたり、加曽利貝塚や縄文文化について調べたりしながらデザイン案の制作に取り組んだ。

今年の2月に本市職員や千葉都市モノレール職員、加曽利貝塚博物館のボランティアスタッフが参加した学生によるプレゼンテーションが行われ、4チームの作品が優秀作品として選ばれた。

本市は、同学院から寄贈された優秀作品のデザイン案をもとに、ホームの装飾を行った。

2 採用デザイン概要

(1) 採用場所

モノレール桜木駅ホーム（若葉区桜木7丁目）

(2) デザイン使用開始日

平成30年3月30日（金）から

3 市長表敬訪問

(1) 日時

平成30年3月30日（金）14：30から

(2) 場所

市役所3階 市長応接室

(3) 訪問者

千葉デザイナー学院 学生3名 担当講師1名

<参考>千葉デザイナー学院について

- 1 法人名 学校法人専門学校千葉デザイナー学院
- 2 所在地 中央区新千葉3-1-6
- 3 概要 デザイン学科 学生169名（※H29.4現在）
- 4 その他 同学院は、これまでも市と連携した各種の取り組みを実施している。
(主な連携事例)
公共施設見直しに係るマンガ版パンフレット作成（H27.3）
動物公園開園30周年記念ロゴマーク制作（H27.3）
胃がんリスク検査（ピロリ菌検査）広報チラシ作成（H29.3）